

令和7年度 秋期 エンベデッドシステムスペシャリスト試験 採点講評

午後Ⅱ試験

全問共通

記述が具体的でなく、一般論に終始した論述が全間に共通して散見された。具体的な記述を行う上で、対象の組込みシステムの概要・技術的特徴、及びシステムについて複雑な状況を説明する際には、必要に応じて図・表を活用し、分かりやすく論述することを心掛けてほしい。解答に当たっては、エンベデッドシステムスペシャリストとして、自らの経験や考えに基づいて、組込みシステムの技術的特徴を踏まえた上で、求められている事項に対して詳細に説明することが望まれる。

問1

問1では、多くの論述で、新市場へ参入する際には、マーケティング戦略の策定において分析フレームワークを活用し適切な市場をターゲットとして選定した内容が論述されていた。一方で、製品の技術的特徴が具体的に述べられていない論述、SWOT分析の結果だけで細分化された市場について記述されていない論述も散見された。エンベデッドシステムスペシャリストは、新市場へ参入する際には、マーケティング戦略を策定し適切な市場をターゲットとして選定できるように、心掛けてほしい。

問2

問2では、組み込みシステム製品を開発する上で、流用可能な設計資産について技術的内容を踏まえた内容が論述されていた。一方で、論述内容が一般論にとどまり、具体的な製品の技術的特徴が述べられていない論述、設計書に関して記述されていない論述も散見された。エンベデッドシステムスペシャリストは、設計資産の流用を行う際には、流用の目的を明確にし、また流用が適切なものであったかの振り返りも含めて流用設計が行えるように、心掛けてほしい。

問3

問3では、要求仕様に示された入出力インタフェースの開発において、物理的・電気的特性を把握した上で、ハードウェア・ソフトウェア双方の開発技術者が協力して開発した内容の論述が多かった。一方で、入出力インタフェースではない内容が主に述べられた論述、仕様書化における考慮が具体的に述べられていない論述も散見された。エンベデッドシステムスペシャリストは、入出力インタフェースの開発においては、物理的・電気的特性を把握した上で目標を定め、ハードウェア・ソフトウェア双方の開発技術者が協力して機能分担を決め、双方が分かり易い仕様書を作成して開発することを、心掛けてほしい。